

令和2年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 教育課程部会

## 実施案内（速報）

主催 一般財団法人日本私学教育研究所 / 後援 日本私立中学高等学校連合会

### ◆研究のねらい◆

## これからの授業デザインとICT活用を考える ～〈探究〉〈教科横断〉の視点を踏まえて～

新型コロナウイルス感染拡大による休校時の対策として、学校におけるICT環境整備の充実が急務となり、国は「GIGAスクール構想」を前倒して、1人1台端末環境の整備の早期実現を目指している。

さらに、令和4年度からは、高等学校では新学習指導要領が実施され、これからのカリキュラム・マネジメントの軸となる「理数探究」や「総合的な探究の時間」など教科横断的な科目が置かれる。

コロナ禍でオンライン授業をいち早く導入した私立学校も多く、今後はオンライン授業のメリットやデメリットを踏まえ、通常の見学授業との効果的な併用を模索していくことも欠かせない。また、ICT環境整備に加え、「探究」授業の取組みも喫緊の課題といえよう。

当部会では、ポストコロナ時代の授業や新学習指導要領を見据えて、子どもたちが創造的問題解決能力を育むために、ICTやデジタルツールを効果的に活用し、授業やPBLの実践・研究に取り組まれている神田外語大学言語メディア教育研究センター（LMLRC）の石井雅章センター長・准教授による講演を行う。

今回は会場となる聖光学院中学高等学校の全面的な協力により、休校時の対応についての実践発表、「探究」授業やICTを活用した授業の視察、同校の先生方を交えての参加者による意見交換を通して、先進的な「探究」授業の取組み、教科の枠を超えた授業デザイン、さらには、これからの授業のあり方について考察していく。

会 期 令和3年2月19日（金）

会 場 聖光学院中学高等学校

神奈川県横浜市中区滝之上100番地（JR根岸線「山手」駅より徒歩8分）

募集人員 120名

参加対象 理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員  
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 18,000円（昼食費を含む）

日 程 ※プログラムは変更になる場合があります。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
令和3年 2月19日 (金)	受 付	30 開 会 式	11 30 講 演	12 30 昼 食	13 20 学 校 紹 介 ・ 実 践 発 表	14 授 業 視 察 ・ 施 設 見 学	15 30 分 散 会	16 40 閉 会 式	17

## 研修内容

※プログラムは変更になる場合があります。

### ◆ 講 演 ◆

演 題 ICTを効果的に活用した探究型授業のデザイン

講 師 石井 雅章 神田外語大学言語メディア教育研究センター(LMLRC)センター長・准教授



博士(学術)。2006年城西大学現代政策学部専任講師、2010年同准教授、2014年神田外語大学メディア教育センター准教授、2017年より現職。専門は環境社会学。主な研究テーマは持続可能な社会システムで、主な著書・論文に『環境事典』(「企業と環境」分野100語担当)(2008年、旬報社)、「PBLの時間的変容とステイクホルダーの関係性の変容に関する可視化と考察」『地方自治研究』(2019年)、「システムから捉えるSDGsの「自分ごと化」のフェーズ」『共生科学』(2020年)等。城西大学在職中の2008年から、大学周辺の休耕地を地域資源として活用するしくみづくりを目的とした「休耕地活用プロジェクト」に取り組み、経済産業省「社会人基礎力を育成する授業30選」(2014年3月)に採択される。現職では、PBLの実践・研究とともに、ICTやデータを活用した授業デザインや学習環境構築に取り組み、2020年度は大学全体のフル・オンデマンド授業化プロジェクト「Innovation KUIS」を統括している。分野や立場が異なる研究者・自治体職員・NGO/NPOスタッフ等で構成する越境的実践研究集団「未来の学びと持続可能な開発・発展研究会(みがくSD研)」では、市民や自治体、企業向けに様々なSDGsワークショップを開発・実践し、SDGsの「自分ごと化」のための活動に取り組んでいる。環境省「持続可能な開発目標(SDGs)を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」関東ブロック・アドバイザー委員、埼玉県鶴ヶ島市まちづくり審議会会長、日本アクティブ・ラーニング学会理事等。

プロジェクト「Innovation KUIS」を統括している。分野や立場が異なる研究者・自治体職員・NGO/NPOスタッフ等で構成する越境的実践研究集団「未来の学びと持続可能な開発・発展研究会(みがくSD研)」では、市民や自治体、企業向けに様々なSDGsワークショップを開発・実践し、SDGsの「自分ごと化」のための活動に取り組んでいる。環境省「持続可能な開発目標(SDGs)を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」関東ブロック・アドバイザー委員、埼玉県鶴ヶ島市まちづくり審議会会長、日本アクティブ・ラーニング学会理事等。

### ◆ 学校視察 ◆

聖光学院中学高等学校

全体会	視察校代表挨拶	工藤 誠一	聖光学院中学高等学校	理事長・校長
	学校紹介	安宅 克己	聖光学院中学高等学校	教頭
	実践発表	名塩 隆史	聖光学院中学高等学校	教諭

授業視察・施設見学

### ◆ 分散会 ◆

テーマ <探究> <教科横断> の視点から授業デザインとICT活用を考える

★いくつかのグループに分かれて研究協議・情報交換を行います。

## 視察校紹介

### 聖光学院中学高等学校

(理事長・校長 工藤 誠一)

設立母体は1819年にフランスで創設されたキリスト教教育修士会。昭和33年4月に聖光学院中学校が、昭和36年4月に聖光学院高等学校が創立された。建学の精神は、『カトリック的世界観にのっとり、人類普遍の価値を尊重する人格の形成、あわせて、高尚かつ、有能なる社会の成員を育成する』にある。

2017年度から「科学・技術で新しい時代を切り拓くリーダーを育む中高一貫プログラム」をテーマに5年間SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されている。また外部からの特別講師も招きアカデミックな内容を盛り込んだ「聖光塾」や、選択芸術講座など特色ある教育を行っている。



●JR根岸線「山手」駅より徒歩8分  
※聖光学院中学高等学校ホームページより  
(<http://www.seiko.ac.jp/>)



◇当研究会実施案内・参加申込書は近日中に全国の私立中学高等学校に郵送し、募集を開始します。

【照会先】(一財)日本私学教育研究所 一般研修担当 TEL 03(3222)1621